

平成27年度「第60回 卒業証書授与式」に出席して

同窓会 渉外担当 副会長

平成28年3月18日 [金] 10時～12時「平成27年度第60回卒業証書授与式」が開催され、8期Kさんと1期Oの2名で出席しました。全般的には、とても暖かな雰囲気での授与式でした。

「第60回卒業証書授与式」は、74名の卒業生と在校生・先生方・来賓・父兄で同窓会寄贈の紅白幕で囲まれた会場の体育館は、「満員御礼」でとても感動的なそして豪華な授与式となりました。特に、最後の卒業生合唱では、74名の卒業生が壇上で全員胸の制服に花をつけて、合唱する姿は、豪華でした。生徒達が主役となって、楽しい思い出の多き卒業式となりました。ありがとうございます。最後に、生徒代表の男子生徒が、卒業生全員の前で「みんな、何時までも友達でいてくれよな」の呼びかけが、卒業生・会場の皆さんの涙を誘っていました。その雰囲気に感動しました。

1. 国歌斉唱の後で、初めて「中野区歌斉唱」がありました。

「未来カレンダー Forever Nakano」

2. 卒業証書授与は、弓田 豊校長より、74名全員に一人一人、丁寧に「卒業証書」が手渡されました。人数が多かったので、とても長い時間に思えました。卒業生の最終番号は、11, 492番でした。

3. 弓田校長の祝辞内容

今日は、中野区長 田中 大輔氏をお迎えして、「第60回卒業証書授与式」を行います。

74名全員が修学旅行に行き、74名全員に卒業証書を授与しました。幸せと喜びを感じます。1年間のお付き合いで、「トイレ水浸し事件」など先生の手を煩わしたこともあったようですがこの1年間の成果は見事でした。

東日本大震災から5年経過しましたが、心は癒えない状態です。

フランクフル著の「夜と霧」という本があります。ナチス・ドイツのユダヤ人対策の小説です。人生とは何かを問う本です。運命を分けたのは、希望を持つかどうか。人生とは何か。運命を決めるのは、希望を持つかどうかが決めた手となった。十中を卒業して先の見えない希望の実現—人間として成長して希望を見つけ出してほしい。

十中校歌の「昨日は今日を思い 今日明日を望む 果てしない理想を 高く懸けて 進む」

親御さんに一言。「お子様を社会的人として、静かに見守ってほしい。」

「第60回卒業証書授与式 74名 幸多かれ 平成28年3月18日」

4. 来賓祝辞

① 中野区長 田中 大輔氏

人口の減少—新しい時代～科学的なものの考え方～人間しかできないこと～悩んだら良き友を思い出して

② 区会議員 いでい 良輔氏

自ら考え、実行に移す—2020年オリンピック—若い人でないとできない分野にチャレンジ

③ PTA会長 神山 知明氏

3年間、PTA会長とても良い学校・十中にいて幸せであった。60回卒業式皆さんの船出となった。74人全員で修学旅行・卒業できた素晴らしい。私もPTA会長の卒業できました。

[2つのお願い]① 感謝の気持ちを忘れない。② 十中もあと2年しかない。心に残る校歌であった。

5. 在校生合唱 「心の中にきらめいて」

6. 卒業生合唱 [大地 讃頌] 「道」 [旅立ちの日に]

以 上